

帯広市初開催!

参加費

無料

(要申込)

定員25名



地球環境基金

助成金説明会 in 帯広

独立行政法人 環境再生保全機構は、民間団体 (NPO・NGO) による国内外の環境保全活動を幅広く支援することを目的とした助成金「地球環境基金」の交付を行っております。この度、平成28年度地球環境基金の募集に関する説明会を帯広市で開催いたします。今回は、地球環境基金の紹介に加えて、活動計画を立てるポイントもご紹介します。初めて助成金を申請する方や検討中の方など、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2015年**12月3日** (木)

日時

18:30~20:30 (開場18:15)

会場

帯広市民文化ホール 3階 第二会議室

(帯広市西5条南11丁目48番地2)

対象

環境保全に取り組んでいる

NPO/NGO、社団・財団法人、任意団体

プログラム

開会 (18:30)

18:35~

第一部

平成28年度地球環境基金のご紹介

地球環境基金が提供する助成メニューや審査基準、スケジュール、過去の採択事例など助成金を申請するための情報を紹介します。

19:35~

第二部

活動計画の立て方について



ワークシートを使用しながら、助成金申請に必要な活動目標や活動内容、成果などを明確にするためのポイントについて紹介します。

20:05~

質疑応答・個別相談会

担当者と直接話すチャンス!

20:30

閉会

<主催>独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

<協力>認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」、
環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)

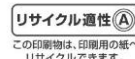
<後援>帯広市



帯広駅南口から徒歩5分

※駐車場は、長崎屋の3階・5階・屋上駐車場をご利用ください。

※駐車場から★印のエレベーターで降りていただくと帯広市民文化ホール入口まで徒歩1分です。



地球環境基金とは？

1992年、ブラジル・リオデジャネイロで開催された「地球サミット」で、日本政府は民間の環境保全活動に対し、資金的支援の仕組みを整備することを表明しました。これらの流れを受けて、当時の環境庁が中心となり、1993年、国と民間の拠出による『地球環境基金』が創設されました。

地球環境基金は環境保全活動を行う環境NGO・NPOへ、資金の助成と活動振興に必要な情報提供、調査研究、研修事業を行っています。助成金は、国からの出資金・運営費交付金・民間からの寄付金によって提供されています。

採択事例紹介

「衣類・繊維3R活性化のための“リクチュール”活動の実践」
NPO法人日本ファイバーリサイクル推進協会



廃棄衣料品を再生する技術の研究

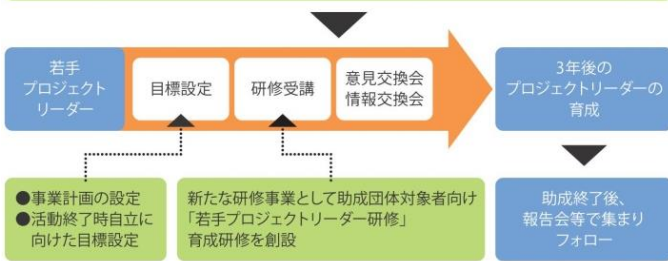
一般助成（実践活動）
平成26年度助成金額
470万円

衣料・繊維製品ゴミの再生利用を促進するために、「回収した廃棄繊維製品を解体して、新品のファッション衣料を制作するための材料として整理加工し、そうした再生素材を駆使してファッション製品を最作する」“リクチュール”という新しい概念を、社会・産業に向けて普及させるための“啓発教育”“技術開発”“産業インフラ整備”“実践支援”等の活動を、他面的に展開しました。

地球環境基金の助成メニューを一部紹介

若手プロジェクトリーダー活動推進費について

助成事業の若手プロジェクトリーダー活動推進費を助成



複数年にわたる活動推進費（賃金）の助成により、若手プロジェクトリーダーに選ばれた対象者は集中して活動に取り組み、年3回の研修で企画運営や資金調達等のノウハウを学びます。また、他団体とのネットワーク構築も図ることができます。これら包括的な支援により、環境NGO・NPOの次世代を担うリーダーを育成します。

その他、皆さんの活動の幅が広がる多数の助成メニュー（助成金額50～1,200万円/年）をご用意しています。詳しくは説明会、またはホームページをご覧ください。

お申込・お問い合わせ先

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）担当：大崎

TEL: 011-596-0921 FAX: 011-596-0931

Email: epoh-webadmin@epohok.jp

URL: <http://www.epohok.jp/>（ホームページからもお申込ができます）

E-mailの方は、お名前（フリガナ）、ご住所、ご所属、電話番号をお知らせください。

FAXの方は、下記お申込用紙をご使用ください。

(フリガナ) 氏名	()	ご所属	
ご住所			
お電話		E-mail	

個人に関する情報は、本講座（本研修）開催の目的以外には使用いたしません。